



「ミシシippアカミミガメ」



キョーコちゃん

ミスくん

小さくて可愛らしいから飼ってみたい、数年後あり得ないほど大きく成長し可愛くなくなった。「ミドリガメ」とか呼ばれるくせに大きくなったら緑じゃなくなった。

縁日の夜店の看板には「アマゾンからやって来た!」と書かれてあったので物珍しくて買ったのに実際は南米大陸原産ではなく北米大陸原産だった。これまで何度となくこのようなやり場のない怒りにも嘆きにも似た感情を聞かされたことがあるが、勿論カメには何の罪もない。

在来のカメの棲みかを奪ったり、福岡県でも某所の由緒あるお堀の蓮を食い尽くしているのではないかと以前から問題になっており、世界各国ではすでにこのカメの取り扱いについて厳しく管理しているところもある。そして先日遂に日本でも環境省が「アカミミガメ対策推進プロジェクト」なるものを進めていくというニュースが流れた。今後は本国アメリカからの輸入のストップを目指すと同時に、今現在飼育されている個体についてもきちんとして最後まで飼育していくよう飼育主の意識向上を目指すという。しかし、どんな形で飼育主の意識を向上させるのか具体的な提案はなされていない。館の方にも家で飼っているアカミミガメを引き取って欲しいという依頼を受けた事があるが、「うちでは引き取れませんし絶対に野外に逃がしたりはしないでください」「もし引き取り手が見つからない場合は殺処分をお願いします」という対応をせざるをえないのが実情。逃がすことは絶対許されず、引き取り手がないなら今まで飼ってきた生き物を自分の手で処分してくださいと言われて、果たしてその通りに出来る人がどれほどいるのだろうか。

しかし、よくよく考えてみると飼育で多少大きめの容器に入れ、しっかりと日光浴をさせてあげればすくすくと育ち、ちょっとの怪我や病気なら動物病院に行かなくても自然治癒してしまう生命力もある。犬や猫ほどではないがスキンシップもとれる。おまけに寿命も長いから数十年も一緒に暮らしていける。野外にさえ放さなければこれほどコンパニオンアニマルとしてふさわしい生き物はそうそういないようにも思えるのだが、自然環境への悪いイメージばかりでなく、ペットとしてとても魅力的な生き物であることももう少し考えてあげたいものである。



スタッフの飼育日誌

“ないのなら作ってみせよう!展示ケース”

館内の物置の中で何やら怪しげな格好で作業する私。現在3月末から開催予定の爬虫類展に向けてヘビやトカゲの仲間を展示するためのケースを鋭意作成中の様子です。そのケース、素材は発泡スチロールですが、そのままだと強度面がちょっと不安。そこで頼りになるのがFRP(繊維強化プラスチック)という特殊な塗料。これを発泡スチロールの表面に張れば、プラスチックのように固まり、おまけに軽くて持ち運びも便利という優れ物!しかし!!この塗料、結構人体に有害な物質が含まれていることもあり、ご覧のように作業時には防護眼鏡と防毒マスク着用必須なのです。爬虫類飼育専用のケースも販売されていますが結構値段が高いし、何より自分の作りたい爬虫類たちの暮らす風景を再現するには何か物足りない。「ならば自分で作ってやろう!」と思い立ったのが今年の夏のこと。そしてこの原稿を書いているのが、年明けの1月16日。後2ヵ月ちょっとしか時間がないじゃないですか!ちなみに作るケースは6個、おまけに解説パネル等も作らなければならないというのにほとんど手つかず。果たして3月末の会期までに間に合うのだろうか?そんな不安とプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも、「トカゲの日光浴のためにスポットライトはこの角度にしよう!」とか「この場所にこんな感じでヘビがとくろ巻いていたら最高やね!」とか色々空想を膨らませながら完成を夢見て作業に没頭しております。



爬虫類たちがどんな姿でケースをのぞくお客様を驚かせてくれるのか、それを考えると会期に間にあうのかという不安以上にワクワクドキドキの期待が膨らんでいくのです。

というわけでこの春は水環境館の爬虫類の祭典にご期待ください。「ヘビやトカゲはちょっと…」というそんなあなたにも私の爬虫類愛に感染させてあげますので。(笑)

水環境館だより 第63号

発行 | 平成28年2月15日

お菓子の家がやってきた!!



平成28年1月12日(火)～1月26日(火)

館内多目的ホールにおきまして、西南女学院短期大学生活創造学科の学生のみなさんによるゼミ展示発表会として、お菓子の家の展示会を開催しました。誰もが小さい頃に憧れた大好きなお菓子で出来たお家の数々はどれも童話で読んだお話に出てくるようなものばかり。

素晴らしい出来栄の美味しそうな10作品が勢ぞろいし、ホールに漂うお菓子の甘い香りも手伝って、多くの来館者が足を止め作品に見入っていました。



このイベントの会期中の1月17日(日)には一般の参加者を集めてのペーパークラフトのミニお菓子の家づくり体験が実施され、たくさんの方々に参加していただきました。参加した小さなお子さんたちはカラフルなキャンディやラムネ、チョコレートなどを目の前にして食べたい衝動を抑えながらも一生懸命お菓子の家を作ってくれました。